

問 全国都市緑化ぎふフェア連携事業として開催する、SDGsマルシェの開催内容は。

答 養老公園入口（元交安協）駐車場にて、軽トラSDGsマルシェのようなイベントを計画している。

問 （仮称）橋爪大橋の開通式の日程と内容は。

答 まだ工事の完成日は確定していないので開通式の日程は未定であるが、年度後半を予定している。開催内容は期成同盟会にて協議していくが、地域住民から多数のご協力をいただいた上での完成であると認識しており、それを考慮に入れながら検討していきたい。

問 橋梁長寿命化計画事業における、烏江作造橋の修繕時期は。

答 出水期を除いた10月以降を予定している。工事に伴う迂回路についても検討する。

問 中央公園野球場のスコアボード改修に加えて、照明設備の改修は実施するのか。

答 夜間照明6棟のうち2棟の改修工事を実施する。LED化については今後順次計画的に整備していく。



要望 子どもがあこがれるような野球場の整備をしてほしい。

問 災害対策事業にて整備される、避難所用バーテション及び防災マットの購入数と保管場所、及び整備時期は。

答 バーテション150張、防災マット1、734枚を整備し、購入時期は令和7年度の早い段階を考えている。保管場所として、防災マットは、日常は生徒の座布団として利用するため各小中学校へ配備し、バーテションは各小学校や公民館に配備する予定。2分の1補助である地方経済生活環境創生交付金を活用する。

問 不登校について、なかなか相談にいけない保護者をフォローできるような環境整備が必要であると考えるが見解は。

答 新年度は、県の拠点校指導員が養老小学校へ配置され、何かあれば他の学校へ出向く形とする。また、なかなか登校できない子をオンラインでフォローする方法も検討していきたい。

要望 学校がすっかりなくなった子がちょっと立ち寄る場所の確保など、いろいろな方法をさらに調査研究し、養老町にあった形で取り組んでほしい。

問 各小中学校に設置してあるAEDについて、教員は操作方法の講習を受けているのか。

答 新しく教員になった方は4月に消防署で研修を受けている。各学校においては全教員が消防署において研修を受けており、操作方法を理解している。



問 情報化推進事業で整備されるタブレット端末の機種と台数及び導入時期は。

答 機種はiPadでタッチペンも購入する。購入台数は小学校1、045台、中学校712台。令和7年度中に購入し、設定等を行ったうえで、令和8年4月から利用開始できるように進めていく。

問 給食費の3割を公費負担にすることにより、保護者負担額はいくらになるか。また、昨今の物価高騰の状況でどのように工夫しているか。

答 3割が公費負担になることにより、保護者負担額として、小学校
月額 3、150円
年額 34、650円
中学校
月額 3、710円
年額 40、810円
献立表通りになるよう工夫しながら取り組んでいる。



問 日独交流事業の派遣人数と実施時期は。

答 団長1名と高校生以上の団員7名を派遣する。8月上旬に2週間程度を予定しており、参加者を公募する。

問 東部町民体育館の空調設置工事の期間と概要は。また、設置後の利用料をどう考えているか。

答 8月から2月くらいを目途に実施したいと考えている。個別空調機を18台程度設置し、1台ずつ個別管理して温度調整ができるようにする。体育館内の競技に支障がないよう工夫して対応する。利用料については、空調設置後の実際の電気料などを確認したうえで算出したい。

問 東部町民体育館の空調設置工事の財源内訳は。また、国や県の補助対象にはならなかったのか。

答 充当率100%である防災減災国土強靱化緊急対策事業債を活用し、その他財源として施設利用料を見込んでいる。当初は断熱性を確保したうえで国の交付金を活用する予定であったが、調査の結果、それほど断熱性の確保に効果が見られなかったことが判明したため、断熱性確保工事を行わず、有利な起債メニューを活用して実施する。

問 町債の低金利への借り換えや、繰り上げ償還の検討は行われたのか。

答 借入れた地方債のうち、最も高い利率でも現在2%で、令和5年度に借入れた地方債は1%前後の利率であり、大幅な高利率の借り入れはない。繰り上げ償還は、貸し手の損失に対する補償金が必要になることがあるので、慎重な判断が必要となるが、高利率の地方債を借り入れた場合には選択肢の一つとして検討していきたい。

問 備品修繕は行わないと判断されているが、現場をきちんと確認したうえでの判断か。また、今後の補正対応はありえるのか。

答 施設管理委託業者とヒアリングを実施しながら、真に必要なものを予算計上している。しかしながら、突発的な故障やメンテナンスが必要になる可能性もあり、その際は緊急的に補正対応することもありえると考えている。

問 借入れた地方債のうち、最も高い利率でも現在2%で、令和5年度に借入れた地方債は1%前後の利率であり、大幅な高利率の借り入れはない。繰り上げ償還は、貸し手の損失に対する補償金が必要になることがあるので、慎重な判断が必要となるが、高利率の地方債を借り入れた場合には選択肢の一つとして検討していきたい。

要望 この状況を鑑み、食肉基幹市場建設に向けてできるだけ早く進めてほしい。

問 予算編成における地方債の金利や償還方法の考え方は。

答 出来る限り利率を抑えるために公的機関からの借り入れを優先し、金利は、安定的な財政運営のため固定金利を選択するようにしている。償還方法は、償還

問 新年度予算において、機器更新や

●令和7年度養老町立食肉事業センター特別会計予算

問 全体の進捗状況は。

●令和7年度養老町住宅新築資金等貸付特別会計予算

答 15人分、22件の回収が終了していない。分納誓約できていない方への対応が課題となっている。

●令和7年度養老町上水道事業会計予算
問 令和7年度における水道管布設替工事の総延長は。

答 南岩道地区などで総延長約1kmの工事を予定している。

問 水道管老朽化に伴う、布設替年次計画はどのように計画されているか。また、その公表も必要ではないか。

答 上水道事業の開始が昭和50年代であるため、管路の布設年度が古く、緊急性のあるものは早めに対応するなど、状況を鑑みながら順次計画して布設替えを実施している。また、管路の耐震化を進めるため上下水道耐震化計画を策定

要望 上水道の布設替えに併せて道路の改修を実施するなど、庁舎内で連携して進めてほしい。

●令和7年度養老町介護保険事業特別会計予算

問 要支援の認定数が増加した要因は。

答 団塊世代の新規申請が増加し、比較的介護度が軽いため要支援の認定数が増加している。

問 新年度予算において、介護保険料徴収率はどれだけで算定したか。

答 普通徴収94・5%で算定した。

●令和7年度養老町後期高齢者医療特別会計予算

問 後期高齢被保険者人数と各自負担割合の人数は。

答 令和6年度
4、809人
令和7年度5、021人（見込み）

令和7年1月末現在の自己負担の割合は、
1割負担3、959人
2割負担824人
3割負担277人

問 普通徴収が比較的多い理由は。



答 特別徴収が基本になるが、基礎年金から介護保険料を優先して天引きし、その残りの金額の2分の1が、保険料より少なければ普通徴収となる。その場合は口座振替の勧奨を行っている。